

平成 16 年度 農林水産省 農薬的資材リスク情報収集委託事業
(農薬的資材安全性検討試験)
ベイツガ・スギ・ヒノキを原料とする木酢液の細菌を用いた復帰突然変異試験

(試験番号 IET 04-0082)

最終報告書

2005 年 3 月 18 日

茨城県水海道市内守谷町 4321
財団法人 残留農薬研究所

この写しは原本と相違ないことを証明します。

財団法人 残留農薬研究所

試験責任者： 松元 郷六

日付： 2005 年 3 月 18 日

1/全 24 頁

陳述書

試験名称：ベイツガ・スギ・ヒノキを原料とする木酢液の細菌を用いた復帰突然変異試験

当該試験は、変異原性試験の実施能力に関して、次に示す試験の適正実施に係る基準（GLP）に適合することが確認された試験施設で実施された。

農林水産省，農薬の毒性に関する試験の適正実施に係る基準，11 農産第 6283 号，
1999 年

本報告書の試験方法には当該試験で使用した方法・手順が忠実に記述され，試験成績には当該試験の実施過程において得られた生データが正確に反映されている。

試験責任者

財団法人 残留農薬研究所

毒性部遺伝毒性研究室長 松元 郷六



2005 年 3 月 18 日

試験施設

名称： 財団法人 残留農薬研究所
所在地： 茨城県水海道市内守谷町 4321 (〒303-0043)
運営管理者： 理事長 岩本 毅

毒性試験指針（ガイドライン）の適用

農林水産省（12 農産第 8147 号，2-1-19-1，2000 年）

試験期間

試験開始日： 2004 年 10 月 1 日
実験開始日： 2004 年 11 月 24 日
用量設定試験実施期間： 2004 年 11 月 24 日～ 11 月 26 日
本試験実施期間： 2004 年 11 月 30 日～ 12 月 2 日
実験完了日： 2004 年 12 月 2 日
試験終了日： 2005 年 3 月 18 日

記録等の保管

当該試験中に作出されたすべての生データ，試験計画書，参照用標本，最終報告書，および記録は，財団法人残留農薬研究所の資料保管施設で保管する。

試験従事者

試験責任者 松元郷六

試験担当者

変異原性試験： 和田邦生，竹澤祐造，阿部美咲樹

目次

	頁
表紙	1
陳述書	2
試験施設	3
毒性試験指針（ガイドライン）の適用	3
試験期間	3
記録等の保管	3
試験従事者	3
目次	4
1. 要約	6
2. 試験目的	7
3. 被験物質	7
4. 試験材料および方法	7
4.1. テスト菌株	7
4.2. テスト菌株の検査	7
4.3. テスト菌株の保存と前培養	8
4.4. S9 Mix の調製	8
4.5. 被験物質溶液の調製	9
4.6. 陰性対照および陽性対照	9
4.7. アミノ酸添加軟寒天液の調製	9
4.8. 用量設定試験	10
4.9. 本試験	10
4.10. 処理方法	10
4.11. 無菌テスト	11
4.12. 試験の有効性	11
4.13. 結果の判定	11
5. 試験成績	12
5.1. 用量設定試験	12
5.2. 本試験	12
6. 試験の有効性	13
7. 考察	13
8. 結論	14

目次 (続き)

	頁
9. 予見することができなかつた試験の信頼性に影響を及ぼす疑いのある事態 および試験計画書に従わなかつたこと	14
10. 参考文献	14

表

1. 試験結果表 (用量設定試験)	16
2. 試験結果表 (本試験)	17
3. 比活性	18

図

1. 用量-反応曲線 (本試験, TA100 株および WP2 <i>uvrA</i> /pKM101 株)	19
2. 用量-反応曲線 (本試験, TA1535 株)	20
3. 用量-反応曲線 (本試験, TA98 株)	21
4. 用量-反応曲線 (本試験, TA1537 株)	22

付表

1. S-9 品質保証書	23
2. 復帰変異突然試験における対照群の背景データ	24